

## 2 地域が支援できること

### 空き家の所有者等の連絡先を把握しておく

自治会ができることとして、建物所有者等と連絡が取れる状態を維持することが最も大切です。地域からのお知らせやお願いなどを、連絡できる良好な関係でいることは、お互いにとってメリットがあります。万が一、音信が

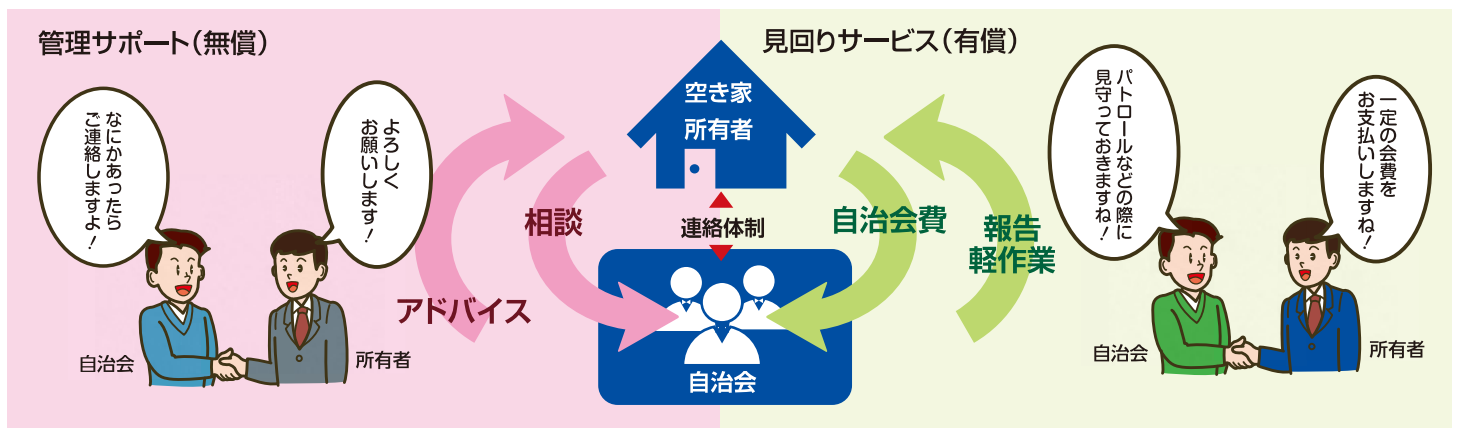
途絶えた場合、再度関係を構築することは難しくなり、適正な管理がされないまま空き家が放置されてしまう可能性があります。そのようなことが起きないように、地域で把握できる仕組みを作りませんか。

#### ■管理サポート(無償)

地域で空き家について気になる事があれば、自治会から所有者に報告し、問題の解決方法について、自治会が気軽に相談に乗る仕組みをつくってみませんか。このような関係を保つことができれば、地域に悪影響を及ぼす空き家が生まれることはありません。

#### ■見回りサービス(有償)

空き家の所有者が、自治会に一定の会費を収めることで、自治会での防犯パトロールに合わせて、空き家の見守りや報告を行う仕組みをつくってみませんか。有償サービスとする事で、お互いが気兼ねなく依頼ができます。またパトロール以外にも草木の剪定など軽作業の代行サービスを、オプションとして提案しても良いかもしれません。



ポイント

良好な関係を築こうとしても、空き家の所有者から理解が得られないときは、行政との連携を考慮してみてください。(行政との連携▶P10)

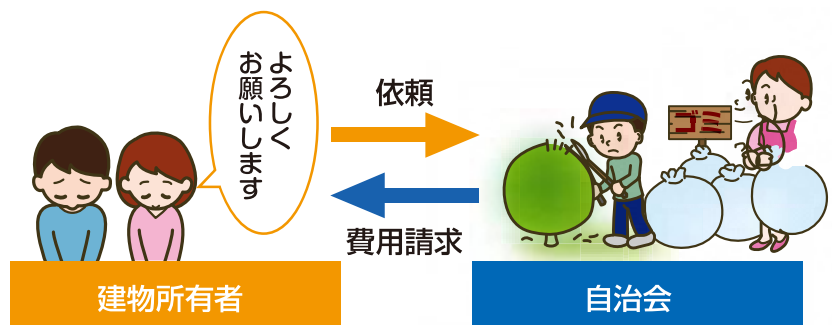
### ごみの処分について

#### ■一時預かり制度

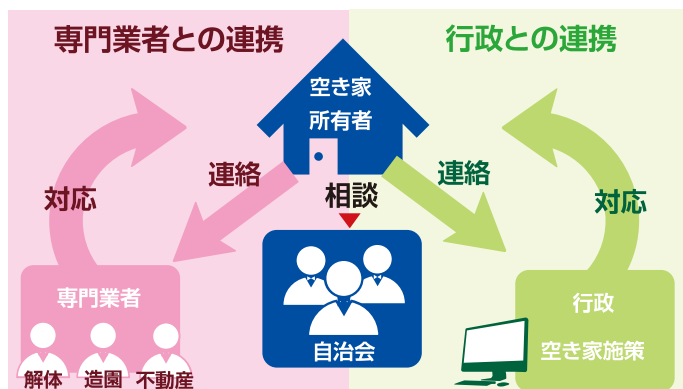
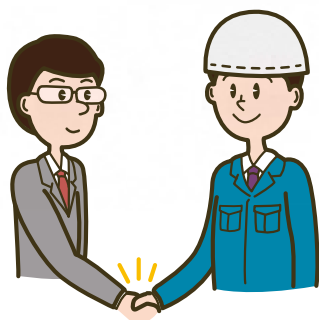
アンケート※1に寄せられた意見の中で、空き家の片づけの際に出た、ごみの処分に困っているという意見がありました。

空き家の所有者が自治会費を払うことで、自治会にゴミ捨て等の作業を依頼できるサービスを行っている地域があります。ごみの処分を通して地域と所有者のつながりをつくってみませんか。

※1.アンケート:P1.※Cを参照ください



# 自治会で連携体制を構築する



## ■ 専門業者の連携

自治会と専門業者とでつくる連携の仕組みを考えてみませんか?空き家の問題を解決できる専門業者と連絡体制をつくることで、空き家の相談があったとき、地域で問題解決に向けた手助けができます。

所有者の気持ちが変わらないうちに対応する

ことが、早期解決に向けたポイントとなります。地域の特性を踏まえ、相談のありそうな問題を想定し、対応できる専門業者と事前に連携することが大切です。



## ■ 行政との連携

空き家の問題は複雑で、解決したくてもできない所有者の方が多くいらっしゃいます。そのような方に対して、地域がクレームを入れても何も解決しません。それどころか溝が深まる一方です。そんなときは、行政に相談してみてもいいでしょうか。

空き家問題が社会現象となっている今、行政毎に様々な対策が講じられています。解決に向けた協力が得られるかも知れません。行政の施策には条件があるため、連携をスムーズに進めるために、施策の内容を事前に理解しておきましょう。



自治会が地域の空家の窓口となり、専門業者や行政と連携することで、地域と所有者が良い関係を築きながら、地域で空き家の解決を進めることができます。

※実際のところ、地域として不安に思うのは、連絡のつかない空き家の所有者に対してです。連絡をとりたくても連絡先が分からない場合には、行政に相談してみてください。一定の条件はありますが、法律に基づいて所有者を特定することができます。

## ■ 芙蓉台での取り組み

### おたがいさまサービス

芙蓉台※2では、ゴミ出しや買い物等の付き添いなど、ちょっとした困りごとを自治会内で助けあう「おたがいさまサービス」という福祉事業が行われています。このサービスは自治会に加入していれば利用することができます。あなたの地域でもこの活動を始めてみませんか。

※2芙蓉台:P1.※Bを参照ください。

